

④救命救急・安全技術

※講師及び開催日は変更することがあります。

研修名	野外レスキュー研修	E 1
お薦めポイント	事故があった時、助けられるのは現場にいる仲間だけです。万が一に備え、仲間のために、自分自身のために、ぜひ受講してください。忘れないように何年かに一度の受講もお薦めです。	
背景と目的	林業は、他産業に比べて危険度が高く、突出して事故の多い業種です。事故を未然に防ぐのが第一ですが、万一事故が起こったときのために、野外救急法の知識を身につけることが、救命率を高め、速やかな救助に繋がります。また、野外救急技術は、繰り返しトレーニングすることが大切です。	
到達目標	交通や通信が不便なことが多い林業の現場で、事故が発生した際の迅速で適切な対応について学ぶ。	
受講要件	①愛知県内で、森林・林業に携わっている者 ②研修期間中も労働災害保険の適用を受けている者	
定員	15名（最少催行人数7名）	
開催場所	愛知県森林・林業技術センター	
講師	一般社団法人ウィルダネスメディカルアソシエイツジャパン（WMAJ） アメリカ発祥のWilderness Medical Associates International（WMAI）の講習を日本で実施する機関です。WMAIの講習は世界31ヶ国で実施されています。	
開催日	【講義（E-ラーニング）】 令和8年5月29日（金）～6月4日（木）の間に4時間、各自のペースで受講 【実技（集合研修）】 令和8年6月5日（金）（8時間）	
内容	講義	野外救急法の必要性、救助要請に時間がかかる現場に必要な人体の知識、命の緊急事態に対応する救命処置法の紹介
	実技	事故・災害による傷病者の評価方法と措置、事故現場を想定したシミュレーショントレーニング
教材	講師作成のテキスト	
受講料	無料	
備考	<p>【カリキュラムの特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外救急法：救急車や救助隊がすぐに来られない、病院までのアクセスに長い時間を要する状況で、人体の構造に基づいた判断をし、環境が人体に与える影響を考慮した処置を行う ・座学を通じて頭で理論的に理解し、次いで実技を通じ体で覚える学習スタイル。 ・令和5年度から、より林業の現場に即した実践的な内容に拡充。 <p style="text-align: right;">} 画期的な救急法。</p>	



切り傷の応急処置対応を学ぶ



骨折等の
応急処置方法を練習



事故現場を想定した
シミュレーショントレーニング